



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 「今日の授業に失望しています！」

新任講師 田中恵 (A)

5

大宮大学経営学部新任講師の田中恵は、約30名の西北総合病院スタッフを前に初めてのケースメソッド授業を開始しようと、大きく深呼吸をした。この西北総合病院での「中堅幹部研修」は、大学院時代の恩師の友人でもあり、大学の先輩でもある仁谷院長からビジネススクールのケースメソッド授業を病院で再現してもらいたいとの依頼によっていた。院長はこの研修に際して「スタッフに経営についての視点を与えたい」との意図を強く持っていた。

10

病院のスタッフにとって、「ビジネススクールのケースメソッド授業」を受けることは初めてであり、田中自身にとってもケースメソッドを知らない人々を相手に授業をおこなうことは初めての経験であった。この研修のそもそもの発案者である仁谷院長は、研修の開始に先立って田中を紹介した後、「今日は是非、ケースメソッドによる授業を経験し、大いに学んでください」との言葉を残して数分前に研修会場である西北総合病院の会議室を後にしていた。

15

田中の目の前には白衣であったり、スーツであったり思い思いの洋服を着た医師や看護師と、事務系スタッフが病院の会議室に集められていた。窓から夕日が差し込んでいた。彼らの机の上には、ケース教材として採用したある病院の災害対応についてのケースが広げられていた。

20

### 田中恵

田中恵は今年の3月に極東大学から組織行動学の論文によって経営学博士号を授与された後、大宮大学経営学部に勤務して4ヶ月目であった。田中は現在37歳で、研究所に勤めるエンジニアの夫と9歳になる双子の娘がいる。田中は大学卒業後、外資系のコンサルティング会社に7年勤務し、その後、出産を経て極東大学ビジネススクールにMBAの学生として入学した。子供の時に父親の仕事の関係で6年間香港に住んだ経験があり、大学時代にも留学経験を持つ田中は、日本企業をもっとよく勉強したいという意図から海外の

25

30